

2019 国際大会選出役員

国際会長	ジュンヨル チョイ Dr. Jung-Yul Choi (韓国)〔崔 重烈〕
国際第一副会長	ヘインズ H. タウンゼンド Judge Haynes H. Townsend (米国・ジョージア州)
国際第二副会長	ブライアン E. シーハン Brian E. Sheehan(米国・ミネソタ州)
国際第三副会長	パトリア ヒル Dr. Patricia Hill (カナダ)
国際理事	
インド、南アジア、アフリカおよび中東 (2名改選)	Sampath Ranganathan (インド) VP Nandakumar (インド)
カナダ(1名改選)	Allan J. Hunt (カナダ)
ヨーロッパ(3名改選)	Nicole Miquel- Belaud (フランス) Daniel Isenrich (ドイツ)p Bent Jespersen (デンマーク)
東洋東南アジア(4名改選)	Masayuki Kawashima〔川島 正行〕(日本) Masafumi Watanabe〔渡部 雅文〕(日本) Kyu-Dong Choi (韓国) Guo-jun Zhang (中国)
南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ およびカリブ海諸島(1名改選)	Marciano Silvestre (ブラジル)
アメリカ合衆国およびその領域、 バーミューダおよびバハマ (6名改選)	Justin K. Faber (米国・ミシガン州) Robert “Bob” Block (米国・イリノイ州) Judge Christopher Shea Nickell (米国・ケンタッキー州) Michael D. “Mike” Banks (米国・オクラホマ州) Dr. Jose A. Marrero(プエルトリコ) Larry L. Edwards (米国・ペンシルベニア州)

以上



公式通達

2019 国際大会 イタリア・ミラノ

以下の国際会則改正案が 2019 年国際大会において提出され、
代議員による票決の対象となります。

第 1 項：アフリカという新しい会則地域を設け、アフリカを代表し各偶数年に選出される 1 名の新国際理事を加えるとともに、ISAAME という会則地域を ISAME に改名し、会則地域を番号順に列記するための改正案。（会則に対するこの改正案の可決には 3 分の 2 の賛成票が必要）

各奇数年に 17 人の理事、すなわち米国及びその領域、バミューダ、バハマ諸島のクラブから 6 人、カナダのクラブから 1 人、南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島のクラブから 1 人、ヨーロッパのクラブから 3 人、東洋東南アジアのクラブから 4 人、インド、南アジア及び中東のクラブから 2 人を選出するものとする。

下記の改正案を承認すべきか？

国際会則第 5 条第 3 項の既存の文言を全文削除し、以下の文言と差し替えることにより、同項を改正する。

第 3 項：国際理事会の会則地域別構成及び選挙。国際理事会は、会長、前会長、第一、第二、及び第三副会長、並びに、下記の通りに選出される理事で構成される。

各偶数年に 18 人の理事、すなわち米国及びその領域、バミューダ、バハマ諸島のクラブから 5 人、南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島のクラブから 1 人、ヨーロッパのクラブから 3 人、東洋東南アジアのクラブから 3 人、インド、南アジア及び中東のクラブから 4 人、オーストラリア、ニュージーランド、パプア・ニューギニア、インドネシア及び南太平洋諸島のクラブから 1 人、アフリカから 1 人を選出するものとする。

可決

DR. JUNG-YUL CHOI
INTERNATIONAL PRESIDENT

Dr. Jung-Yul Choi of Busan, Republic of Korea, was elected to serve as international president of Lions Clubs International at the association's 102nd International Convention, held in Milan, Italy, July 5 through July 9, 2019.

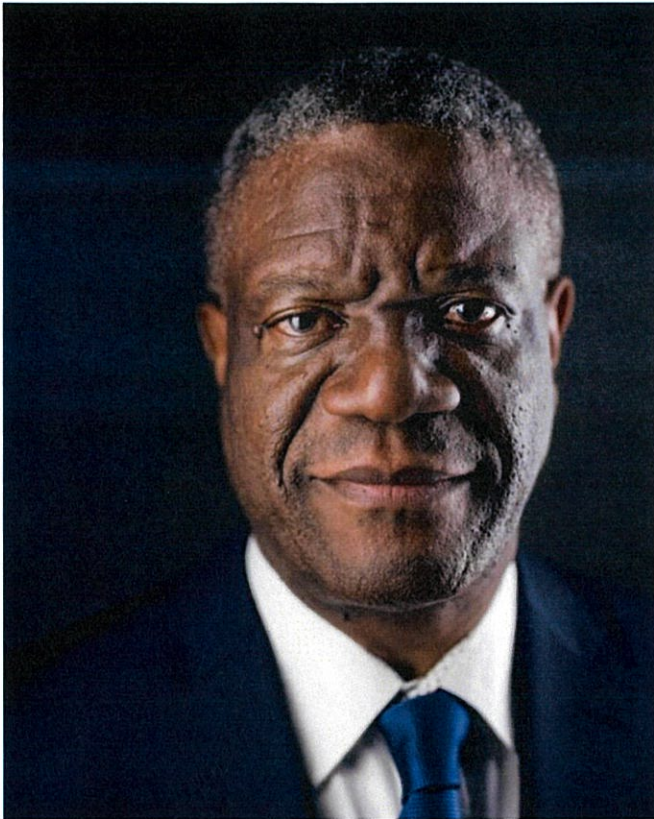
A member of the Busan Jae-il Lions Club since 1977, President Choi has held many offices within the association, including club president, cabinet secretary, district governor and international director. He also served numerous times as a DGE Group Leader and served on 11 committees as a member of the International Board of Directors. In addition, he was a chairperson of the 39th OSEAL Forum in 2000 and a host committee chairperson at the 95th Lions International Convention in Busan in 2012, the largest convention ever held in Lions history.

In recognition of his service to the association, President Choi has received numerous awards, including the Humanitarian Partnership; Senior Master Key Award; 100% District Governor Award; multiple International President's Leadership Awards; multiple International President's Awards; and an Ambassador of Good Will Award, the highest honor the association bestows upon its members. He is also a Progressive Melvin Jones Fellow.

In addition to his Lion activities, President Choi is chief executive officer of Koala Company, Ltd., an international trading company, and is also a past director of the Busan Sports Association.

President Choi and his wife, Seung-Bok, have one son, four daughters and two granddaughters.

Posted 4月 15, 2019



デニス・ムクウェゲ医師は世界的に著名なコンゴ民主共和の産婦人科医、社会活動家であり、ノーベル平和賞受賞者でもあります。戦時下での性暴力被害者の治療にあたるとともに、武器としてレイプが使われることを非難する活動を世界中で行っています。20年以上にわたって続く紛争で性暴力が多発するコンゴ東部で、ムクウェゲ医師は被害を受けた女性たちに治療を行ってきました。

ムクウェゲ医師が子供の頃、コンゴ民主共和国(DRC)東部のキブ湖畔の街、ブカブの病院を牧師である父親に伴われて訪れました。ある日、ムクウェゲ少年と父親は死期が近い少年を見舞いました。彼らは少年のために祈ることしかできませんでした。当時8歳だったムクウェゲ少年はこの経験の後に医師になること

を決意し、父親にこう言いました。「お父さんは祈ってあげてください。私は薬をあげます」

人命と尊厳を守り高めることに対するムクウェゲ医師の数々の功績を称え、ライオンズクラブ国際協会はイタリア・ミラノで開催される国際大会(LCICon)において、ムクウェゲ医師にライオンズ人道支援大賞を授与します。この賞は協会の最も栄誉ある賞であり、称賛すべき人道奉仕活動を行っている個人や団体に授与されます。

この賞の詳細と受賞者一覧はこちら lionsclubs.orgをご覧ください。



Posted 2月 21, 2019

ライオンズクラブ国際協会より、うれしいニュースをお届けいたします。ミラノで行われるLCICon 2019の基調講演者/特別ゲストとして、英国の元首相でトニー・ブレア・インスティテュート・フォー・グローバル・チェンジの創設者、トニー・ブレア氏をお迎えすることになりました。

1997年～2007年に首相を務めたブレア氏は、近代的な進歩主義政治の概念を問い直し、大規模な国内改革を実行しました。ブレア氏の新労働党政府は、過去最大の投資と改革によって教育部門と医療部門を刷新し、英国の社会保障制度創設以来最大の病院・学校建設計画を遂行したのです。また、英国史上初めて全国最低賃金を導入し、人権と平等に関する改革も推し進めました。のみならず、彼の政権下では記録的な経済成長と雇用水準が達成されています。

ブレア氏は国際舞台の主役の一人としても、北アイルランド和平実現を支援し、英国の国際開発省を創設し、アフリカへの対外援助を三倍にし、気候変動に取り組むための画期的な法案を提出しました。

テクノロジーが労働人口に及ぼす影響や、世界中の社会における不平等の問題への対処など、彼は今日の最も難しい問題に関する議論の最前線に立っています。世界の出来事に対する独特の視点と、当代の重要な課題への解決策を提示する政治的洞察力は、首相時代と退任以降のいずれも類まれな国際経験によって培われたものです。

2017年、多様な分野にわたるブレア氏の取り組みのすべてが、一つの非営利組織へと正式に統合されることになりました。それがトニー・ブレア・インスティテュート・フォー・グローバル・チェンジであり、公職を退いてからのブレア氏の活動の足跡に立脚しています。

この組織では、各国の国民と政府が今日の世界における最も難しい課題に対応できるよう支援しています。その取り組みの詳細はinstitute.globalをご覧ください。